

1

次は、中学生の前田さんが「総合的な学習の時間」でロボットについて調べたことを発表する原稿【A】と、そのときに使用する表【B】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

私は、インターネットを使って、ロボットについて調べました。

まず分かったことは、日本は、工場¹で働く産業用ロボットの分野で世界をリードする存在であるということです。これも驚きだったのですが、さらに驚いたのは、アニメや空想の世界のものだと思い、あこがれでさえあったロボットが、現実のものになりつつあるということです。災害救助用ロボットや二足歩行ロボットなどの様々なロボットが、次々と生み出されているのです。みなさんも、テレビなどで二本の足で歩くロボットを見たことがあるのではないのでしょうか。日本は、世界有数のロボット大国なのです。

また、私が思っていた以上に、多くの人がロボットに親しんでいるということも分かりました。大学などでロボットを研究している人たちがロボットの性能を競い合うコンテストが、毎年開催されています。テレビでも放映されているので、みなさんも知っているのではないのでしょうか。これ以外にも、幅広い年齢層の人が参加する様々なロボットの競技会³が、全国各地で開かれています。

しかし、ロボットが私たちの生活の中で多く使われるようになればなるほど、改めて考えなければならないことも増えてくると思います。例えば、ロボットに頼りすぎることはないかということや、ロボットを使うことが人を危険に巻き込むようなことはないかということなどです。人と人とのコミュニケーションの問題も考えられるかもしれません。

⁴幼いころからロボットに親しみ、ロボットをパートナー⁴と考えることが可能となった私たちは、その長所と短所を十分に理解しながら、ロボットと共存する未来社会を描いていく必要があるのではないのでしょうか。

ウ	イ	ア	記号
 <p data-bbox="389 801 552 837">高さ 100cm</p>	 <p data-bbox="703 801 855 837">高さ 40cm</p>	 <p data-bbox="1034 801 1198 837">長さ 120cm</p>	写真
<p data-bbox="260 1032 293 1960">(社団法人日本ロボット工業会ホームページ、東京工業大学ホームページによる。)</p> <ul data-bbox="363 936 580 1933" style="list-style-type: none"> ・ 十名までの人の顔を識別することができる。 ・ 日常生活に必要な一万語を認識し、人とコミュニケーションをとることができる。 ・ 留守中に変わったことがあれば、所有者に連絡する。 	<ul data-bbox="675 936 890 1933" style="list-style-type: none"> ・ 近づく人を赤外線センサーで検知し、チラシを渡す。 ・ 手渡しに成功するとお礼のポーズ、失敗すると謝りのポーズをとる。 ・ 一定の時間、人が近くに来なければ立ち上がり、腕を振って注意をひこうとする。 	<ul data-bbox="1038 936 1254 1933" style="list-style-type: none"> ・ 地震の被災地などにおいて、人間が入れないところで救援活動を行うことができる。 ・ 転がってもすぐに体勢を戻すことができる。 ・ 頭部に取りつけてあるカメラで被災者を探することができる。 	性能・特徴

一 前田さんは、【B】の表を配布して、説明に生かしたいと考えています。この表は、【A】の文章の——線部1から4のどこで具体的な例として使うのがよいでしょうか。1から4のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

二 前田さんは、【B】の表と一緒に、ロボットを開発した人の考えも紹介することにしました。次は、どのロボットを開発した人の考えですか。【B】の表のAからUのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

少子高齢化が進む社会において、家庭での様々な会話を通じて、楽しく、安心な暮らしをサポートする存在としてロボットを提案した。

(社団法人日本ロボット工業会ホームページによる。)

三 **【A】**の文章中に**ロボットと共存する未来社会**とありますが、あなたは、どのような未来社会を想像しますか。次の**条件1**と**条件2**にしたがって書きなさい。

条件1 人間とロボットとの未来の関係についてのあなたの考えを書くこと。

条件2 **【B】**の表に示されているロボットの「性能・特徴」のいずれかに触れること。